

令和6年度  
北海道大学工学部  
編入学試験（一般選抜）  
学士入学試験

【数学】

試験時間 9：30～11：30

- 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、黒の鉛筆、黒のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、眼鏡、時計（計時機能のみ有するもの）のみです。  
これ以外のものを試験時間中、机の上に置いてはいけません。
- 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類、及び時計のアラームは、試験時間中、使用してはいけません。  
これらの電子機器類は、あらかじめアラームの設定を解除して電源を切り、かばん等に入れなさい。

注 意

- 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
- 問題紙は、このページを含めて4ページあります。
- 解答用紙は「数学1／5」から「数学5／5」までの5枚、草案用紙は3枚あります。
- 受験番号は、監督員の指示に従って、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
- 解答はすべて、解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。なお、裏面を使用してはいけません。
- 必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
- 解答用紙は5枚とも全部必ず提出しなさい。
- 問題紙の余白は下書きに使用しても差し支えありません。
- この問題紙と草案用紙は回収しません。

令和6年度  
北海道大学工学部  
編入学試験（一般選抜）  
学士入学試験

【数 学】

## 令和6年度北海道大学工学部編入学試験(一般選抜)・学士入学試験問題【数学】

(注意) 途中の計算手順など、解答に至る過程が分かるように記述すること。

問1. 以下の設間に答えなさい。

設問1.  $z = y \sin(2x + 3y)$  について

$$\frac{\partial z}{\partial x}, \frac{\partial z}{\partial y}, \frac{\partial^2 z}{\partial y \partial x}$$

を求めなさい。

設問2.  $D$ を  $xy$  平面の第一象限で  $y = x^2$  と  $y = x$  に囲まれた領域とし、次に示す重積分を求めなさい。

$$I = \iint_D (2x - y) dx dy$$

問2. 以下の設間に答えなさい。

設問1. 次に示す微分方程式の一般解を求めなさい。

$$x^2 y' + y^2 = 0$$

設問2. 次に示す微分方程式の一般解を求めなさい。

$$xy'' = 2y' + x^3$$

問3. 球  $x^2 + y^2 + z^2 - 6x + 8y + 4z - 20 = 0$  について以下の設間に答えなさい。

設問1. この球が  $xy$  平面と交わってできる円の中心の座標と半径を求めなさい。

設問2. この球の内部と  $x$  軸との共通部分である線分の長さを求めなさい。

設問3. この球面上の点  $A(1, 2, 1)$  におけるこの球の接平面の方程式を求めなさい。

問4.  $xy$  平面において、原点  $O$ 、点  $A(a_1, a_2)$ 、点  $B(b_1, b_2)$  を考える。点  $B$  は  
実行列  $R = \begin{pmatrix} r \cos \theta & -r \sin \theta \\ r \sin \theta & r \cos \theta \end{pmatrix}$  で表される線形変換による点  $A$  の像とする。

このとき、以下の設間に答えなさい。ただし、 $A \neq O$ ,  $r > 0$ ,  $0 \leq \theta < \pi$   
とする。

設問1. 点  $B$  の座標を  $a_1, a_2, r, \theta$  を用いて表しなさい。

設問2. 内積  $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB}$  を  $a_1, a_2, r, \theta$  を用いて表しなさい。

設問3. 三角形  $\triangle AOB$  の面積  $S$  を  $a_1, a_2, r, \theta$  を用いて表しなさい。

設問4. 三角形  $\triangle AOB$  の面積  $S$  と行列式  $\det \begin{pmatrix} a_1 & b_1 \\ a_2 & b_2 \end{pmatrix}$  との関係を表す式を  
求めなさい。

問5. 3次方程式  $f(x) = x^3 + x^2 + ax + b = 0$  ( $a, b$  は実数) は実数解  $-3$  をもつとする。以下の設間に答えなさい。

設問1. この方程式の解がすべて実数であるとき、係数  $a$  と  $b$  のとり得る範囲を求めなさい。

設問2. この方程式が虚数解の一つとして  $1 + i\sqrt{3}$  をもつとき、係数  $a$  と  $b$  を求めなさい。

設問3. 上の設問2におけるすべての虚数解を極形式  $r(\cos \theta + i \sin \theta)$  で表しなさい。ただし、偏角  $\theta$  の範囲は  $0 \leq \theta < 2\pi$  とする。